

電池材料評価プロジェクト

「迅速で、的確な評価技術・評価ノウハウ」、**「実践評価」**

21世紀の現在、人類にとって地球環境の維持、改善が最重要課題となっております。エネルギーの一翼を担う蓄電デバイスの研究開発は、リチウムイオン電池、キャパシタ、リチウムイオンキャパシタと、各々のデバイスで極めて活発化しています。予想される厳しい研究開発競争では、企画、ものづくりも大切ですが、迅速で、的確な評価技術、評価ノウハウの有無が勝敗を決定すると考えられます*。

*矢田静邦、「リチウムイオン電池・キャパシタの実践評価技術」、技術情報協会(2006年9月)

KRIでは、蓄電デバイスの開発・評価技術の蓄積に基づき、クライアント様の開発の目的、目標に応じた様々な評価をご提案しております。

初期特性

容量・レート・温度特性

信頼性

サイクル・保存特性



電解液量、圧力等
実電池系条件での
評価が可能

寿命評価

現地寿命評価

短期間に電池の『現地寿命』予測

基本係数

サイクル劣化係数
保存劣化係数
温度分布表
容量、抵抗等

運転条件

1日平均運転時間
作動条件
環境条件

仕様

寿命条件
(容量、電圧、抵抗、出力)

現地寿命の推定

迅速で、的確な 評価技術

リチウムイオン電池
キャパシタ
関連部材

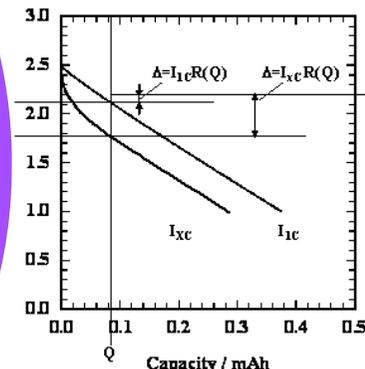


評価ノウハウ

入出力特性

電流休止法抵抗による
入出力計算

$$V_{XC}(Q) = V_{IC}(Q) - (I_{XC} - I_{IC}) R_t$$



安全性評価

UL・JIS規格
中大型電池



構造設計
シミュレーション

電池試作評価
(小型～大型)

蓄電システム

連絡先:

〒600-8813

京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク

株式会社 KRI エネルギー変換研究部

TEL:075-315-9259 FAX:075-315-9279

[エネルギー変換研究部お問い合わせ\(メールフォーム\)](#)